

# 国語 1 学年

## はじめに

「国語をなぜ勉強するの。」と一度は思ったことがありますか？国語はあなたの全ての生活、人生にとっても深くかかわっています。例えば、今あなたが思っていることを誰かに伝える時、どのように伝えますか？簡単なことなら相手にもたやすく理解してもらえますでしょう。けれども、少し複雑な思いになるとどうですか？相手にわかりやすく伝えることができますか？国語はそのような表現力を養い、読解力を養い、そしてそれらの基礎となる言語力を養います。

## 年間計画

単 元 名	教 材 名	学 習 目 標
言葉に出会うために	野原はうたう	声を届ける／書き留める／調べる
学びをひらく	花曇りの向こう	いろいろな言葉にふれながら学習の見通しをもつ。
	漢字の組み立てと部首	部首の理解と漢和辞典の使い方を覚える。
新しい視点へ	ちょっと立ち止まって	説明の工夫をとらえながら、ものの見方を広げる。
	話し言葉と書き言葉	形式段落と意味段落の違いを理解する。
言葉をつなぐ	詩の世界	豊かな表現にふれ、言葉のもつ力を考える。
文法…「文法教室」の「言葉の単位」、「文の組み立て」		
言葉をつなぐ	空を見上げて	豊かな表現にふれ、言葉のもつ力を考える。
つながりの中で	大人になれなかった弟たちに…	文章の展開に着目して心情や事実をとらえる。
	シカの「落穂」拾い	自分のものの見方・考え方を広げるために読む。
いにしえの心に触れる	いろは歌・月に思う	古典の文章に出会い、現代とのつながりを考える。
つながりの中で	星の花が降るころに	文章の展開に着目して心情や事実をとらえる。
いにしえの心に触れる	蓬萊の玉の枝	古典の文章に出会い、現代とのつながりを考える。
文法…「文法教室」の文節の関係、文の成分		
新しい視点へ	ダイコンは大きな根？	説明の工夫をとらえながら、ものの見方を広げる。
論点を捉えて	グループディスカッション	
いにしえの心に触れる	今に生きる言葉	古典の文章に出会い、現代とのつながりを考える。
自分を見つめて	少年の日の思い出	作品や生活との向き合いながら、ものの見方を深める。
	さまざまな表現技法	作品や生活との向き合いながら、ものの見方を深める。
論点を捉えて	幻の魚はいきていた	事実と意見の関係に注意しながら、内容を考える。
自分を見つめて	漢字の成り立ち	作品や生活との向き合いながら、ものの見方を深める。

\* 書写については、随時行います。

\* 漢字・語句については「単元別漢字ワーク」を使用します。

※プリント類保管用のファイルを使用します。（学校で一括購入します。）

## 教科の先生からのアドバイス

### 〈授業の受け方〉

教科書やノートなどの準備物を忘れず、集中して意欲的に授業に取り組みましょう。私語はもちろん厳禁です。黒板に書かれた内容だけではなく、聞いたことや感じたこと、考えたことなどもメモするといいでしょう。「この文章で言いたいことは」「作者の考えは」「この語句の意味は」など、いつも頭を働かせて自分からすすんで授業を受けることが大切です。

まずは文章をスラスラ読めるようになってください。そして、文章の内容について理解し、自分の考えや意見を持ちましょう。それをまとめたり発表したりしながら深めていくことが大切です。

### 〈家庭学習の仕方〉

「家庭学習」では「復習」に力を入れ、習ったところを音読し、ノートにまとめ直してみましょう。漢字については漢字ノートで覚えながら書くなどして、充分活用しましょう。予習では、しっかり教科書を読んでおきましょう。また、提出物は期限を守り、丁寧に仕上げるのが大切です。さらに、国語力を確実に身につけていくためにも、できるだけ多くの文章を読み、親しみましょう。小説や物語だけでなく、説明文も読みましょう。新聞（特にコラム。朝日新聞であれば、「天声人語」、毎日新聞であれば「余録」など）を読む習慣をつけるといいでしょう。

### 〈評価について〉

「はじめに」にあるように、国語では表現力や読解力、言語力を養いますが、学習内容は「話す・聞く」「書く」「読む」「言語事項」という領域で構成されています。そしてそれぞれの領域について「関心・意欲・態度」を含め、五つの観点で次のような資料で評価を行います。

- ① ・授業中の態度（集中度、発表への積極性など）  
・国語に対する関心・意欲  
・提出物、準備物、ノート・プリント等 課題への取り組み
- ② ・授業・テストなどによる話す力と聞く力（発表、スピーチ、発言、朗読、暗唱発表、聞き取りなど）
- ③ ・作文、定期テスト、授業ノートにおける表現力
- ④ ・授業における理解力  
・定期テストの読解分野での理解度
- ⑤ ・授業中における言語事項に関する理解度・知識  
・定期テスト（小テスト）の漢字・文法分野での達成

### おわりに

以上の内容以外に、もしわからない点や疑問に思う点などがあれば、ぜひあなたの身近にいる国語の先生に尋ねてみてください。「雨垂れ石をうがつ」といいますが、テストの結果に「一喜一憂」せず、粘り強い努力を続けていってください。ではいっしょに頑張りましょう！！

# 国語 2 学年

## はじめに

「国語をなぜ勉強するの。」と一度は思ったことがありますか？国語はあなたの全ての生活、人生にとっても深くかかわっています。例えば、今あなたが思っていることを誰かに伝える時、どのように伝えますか？簡単なことなら相手にもたやすく理解してもらえますでしょう。けれども、少し複雑な思いになるとどうですか？相手にわかりやすく伝えることができますか？国語はそのような表現力を養い、読解力を養い、そしてそれらの基礎となる言語力を養います。

## 年間計画

単 元 名	教材名	学習内容
広がる学びへ	詩、アイスプラネット 枕草子	さまざまな文章に触れ、言葉の豊かさに気づく
多様な視点から	生物が記録する科学 メディアと上手に付き合 うために	構成を捉え、説明の工夫を考える
言葉と向き合う	短歌、言葉の力	表現を味わい、言葉の世界を広げる
読書生活を豊かに	世界で一番の贈り物	読書を通して時代や国境を越え、たくさんの人物たちとの 出会いを楽しむ
文法…「文法教室」の「用言」「名詞」「動詞・形容詞・形容動詞」		
関わりの中で	盆土産、字のないハガキ モアイは語る	さまざまな関係を捉え、考えを深める
気持ちを込めて書こう	手紙を書く	伝えたい内容を明確にし、気持ちや用件が的確に伝わるよ うにする
いにしへの心を訪ねる	扇的、仁和寺にある法 師、漢詩の風景	昔の人の物の見方や、考え方に触れ、古典に親しむ
論理を捉える	君は「最後の晚餐」を知 っているか	根拠を明確にした説得力のある表現を学ぶ
表現を見つめる	走れメロス	多様な表現に触れ、自分の経験と重ねながら理解を深める
文法…「文法教室」の「体言・用言以外の自立語」		
表現を見つめる	科学はあなたの中にある	多様な表現に触れ、自分の経験と重ねながら理解を深める
文法・・・「文法教室」の「助詞・助動詞」		

※ 漢字・語句については「単元別漢字」を使用します。

## 教科の先生からのアドバイス

### 〈授業の受け方〉

教科書やノートなどの準備物を忘れず、集中して意欲的に授業に取り組みましょう。私語はもちろん厳禁です。黒板に書かれた内容だけではなく、聞いたことや感じたこと、考えたことなどもメモするといいいでしょう。「この文章で言いたいことは」「作者の考えは」「この語句の意味は」など、いつも頭を働かせて自分からすすんで授業を受けることが大切です。

まずは文章をスラスラ読めるようになってください。そして、文章の内容について理解し、自分の考えや意見を持ちましょう。それをまとめたり発表したりしながら深めていくことが大切です。

### 〈家庭学習の仕方〉

「家庭学習」では「復習」に力を入れ、習ったところを音読し、ノートにまとめ直してみましよう。漢字については毎回の漢字テストを利用し覚えていきましょう。予習では、しっかり教科書を読んでおきましょう。また、提出物は期限を守り、丁寧に仕上げるのが大切です。

さらに、国語力を確実に身につけていくためにも、できるだけ多くの文章を読み、親しみましよう。小説や物語だけでなく、説明文も読みましよう。新聞（特にコラム。朝日新聞であれば、「天声人語」、毎日新聞であれば「余録」など）を読む習慣をつけるといいいでしょう。

### 〈評価について〉

「はじめに」にあるように、国語では表現力や読解力、言語力を養いますが、学習内容は「話す・聞く」「書く」「読む」「言語事項」という領域で構成されています。そしてそれぞれの領域について「関心・意欲・態度」を含め、五つの観点で次のような資料で評価を行います。

- ① ・授業中の態度（集中度、発表への積極性など）
  - ・国語に対する関心・意欲
  - ・提出物、学習準備物、ノート・プリント等 課題への取り組み
- ② ・授業・テストなどによる話す力と聞く力（発表、スピーチ、発言、朗読、暗唱発表、聞き取りなど）
- ③ ・作文、定期テスト、授業ノートにおける表現力
- ④ ・授業における理解力
  - ・定期テストの読解分野での理解度
- ⑤ ・授業中における言語事項に関する理解度・知識
  - ・定期テスト（小テスト）の漢字・文法分野での達成度

## おわりに

以上の内容以外に、もしわからない点や疑問に思う点などがあれば、ぜひあなたの身近にいる国語の先生に尋ねてみてください。「雨垂れ石をうがつ」といいますが、テストの結果に「一喜一憂」せず、粘り強い努力を続けていってください。ではいっしょに頑張りましよう！！

# 国語 3 学年

## はじめに

「国語をなぜ勉強するの。」と一度は思ったことがありますか？国語はあなたの全ての生活、人生にとっても深くかかわっています。例えば、今あなたが思っていることを誰かに伝える時、どのように伝えますか？簡単なことなら相手にもたやすく理解してもらえますでしょう。けれども、少し複雑な思いになるとどうですか？相手にわかりやすく伝えることができますか？国語はそのような表現力を養い、読解力を養い、そしてそれらの基礎となる言語力を養います。

## 年間計画

単元名	教材名	学習目標
深まる学びへ	春に	作者の思いを捉え、表現の特徴を生かして朗読する。
	握手 学びて時にこれを習ふ	物語や小説を批評する。 孔子の考え方を、自分たちの生活と関連づけて考える。
「修学旅行新聞」を作る…クラスで発表・報告をする。		
視野を広げて	月の起源を探る	説明の順序に着目する。
言葉を見つめる	俳句の可能性	俳句の世界に親しむ。
	俳句を味わう	描かれた情景、作者の思いを捉え、朗読する。
文法…助動詞および「文法教室」のこれまでの学習内容の復習		
論旨を捉えて	初恋	言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。
読書生活を豊かに	高瀬舟	登場人物のものの見方や考え方を捉える。
いにしえの心と語らう	古今和歌集仮名序	古文の言葉の響きを味わう。
	君待つと 夏草	和歌に表れた心情や情景を読み取る。 作者のものの見方や感じ方を読み取る。
論旨を捉えて	作られた「物語」を超えて	論理の展開を捉える。
文法…「文法教室」のこれまでの学習内容の復習・応用		
状況の中で	故郷	場面や登場人物の設定を考える。
言葉を見つめる	「批評」の言葉のため	筆者の言葉に対する考えを読み取り、考えを深める。
過去問題などを解き、入試に向けての仕上げを行う。		

- ・漢字・語句については「単元別漢字ワーク」を使用します。
- ・言語に関する学習は、随時行います。

## 教科の先生からのアドバイス

### 〈授業の受け方〉

教科書やノートなどの準備物を忘れず、集中して意欲的に授業に取り組みましょう。私語はもちろん厳禁です。黒板に書かれた内容だけではなく、聞いたことや感じたこと、考えたことなどもメモするといいいでしょう。「この文章で言いたいことは」「作者の考えは」「この語句の意味は」など、いつも頭を働かせて自分からすすんで授業を受けることが大切です。

まずは文章をスラスラ読めるようになってください。そして、文章の内容について理解し、自分の考えや意見を持ちましょう。それをまとめたり発表したりしながら深めていくことが大切です。

### 〈家庭学習の仕方〉

「家庭学習」では「復習」に力を入れ、習ったところを音読し、ノートにまとめ直してみましよう。漢字については漢字ノートで覚えながら書くなどして、充分活用しましょう。予習では、しっかり教科書を読んでおきましょう。また、提出物は期限を守り、丁寧に仕上げるのが大事です。

さらに、国語力を確実に身につけていくためにも、できるだけ多くの文章を読み、親しみましよう。小説や物語だけでなく、説明文も読みましよう。新聞（特にコラム。朝日新聞であれば、「天声人語」、毎日新聞であれば「余録」など）を読む習慣をつけるといいいでしょう。

### 〈評価について〉

「はじめに」にあるように、国語では表現力や読解力、言語力を養いますが、学習内容は「話す・聞く」「書く」「読む」「言語事項」という領域で構成されています。そしてそれぞれの領域について「関心・意欲・態度」を含め、五つの観点で次のような資料で評価を行います。

- ① ・授業中の態度（集中度、発表への積極性など）  
・国語に対する関心・意欲  
・提出物、学習準備物、ノート・プリント等 課題への取り組み
- ② ・授業・テストなどによる話す力と聞く力（発表、スピーチ、発言、朗読、暗唱発表、聞き取りなど）
- ③ ・作文、定期テスト、授業ノートにおける表現力
- ④ ・授業における理解力  
・定期テストの読解分野での理解度
- ⑤ ・授業中における言語事項に関する理解度・知識  
・定期テスト（小テスト）の漢字・文法分野での達成度

## おわりに

以上の内容以外に、もしわからない点や疑問に思う点などがあれば、ぜひあなたの身近にいる国語の先生に尋ねてみてください。「雨垂れ石をうがつ」といいますが、テストの結果に「一喜一憂」せず、粘り強い努力を続けていってください。ではいっしょに頑張りましよう！！